

交通事故を防ぐために

八日市場警察署
交通課

町民の皆さんは今年もいろいろな年間目標を立てていると思いますが、忘れてはならないものに交通事故防止があります。昭和六十一年中の管内での事故は次のとおりで、

	発生件数	死者数	傷者数	物件数
61年	253	9	355	574
60年	235	10	340	516
増減数	+18	-1	+15	+58

死者数を除き、発生件数、傷者共に前年に比較して増加しており、今年も更に増加することが予測されます。

交通事故は、いつでも、どこでも発生し、また誰でも当事者になる可能性があります。交通事故を防ぐために、常に万全の注意をすることが必要です。

速度を控え目にし、常に安全運転を心がける。

県内の死亡事故の約四十パー

セントは速度超過が原因です。車両等を運転中、もし飛び出しなどがあつた場合でも速度を控え目にしていれば、その直前で停止することもでき、衝突したとしても軽微な事故ですみます。酒を飲んだら絶対に運転をしない。

飲酒運転を原因とする死亡事故は全体の約二十パーセントを占めています。自分では大丈夫だと思つていても、飲酒していると注意力が散漫になる、気が大きくなる、眠くなるなど、大きな事故をひきおこす結果となります。

法令に従つた運転を

交通関係の法令は交通秩序を維持し、事故を防止するためのきまりです。一人でもルールを無視する人がいれば、交通秩序が乱れ、他人に迷惑となるばかりでなく、重大な事故の発生につながります。

また、違反者に科せられる罰金も法律の改正により、四月一日からは、これまでの約二倍から二・五倍になります。

駐車違反も重大な原因に

駐車車両のかけからの飛び出

しや駐車車両による見とおしの阻害から、車や人の発見が遅れ多くの事故が発生しているばかりでなく、交通渋滞の原因にもなります。いつでも危険を予測した運転をする

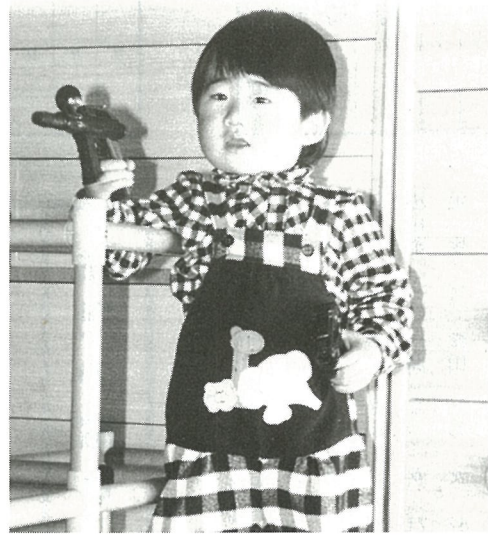
危険はないだろうという自己中心的な「だらう運転」をやめ、危険を予測した「かもしれない運転」をする必要があります。いつでも危険を予測していれば、いざという時にす早く対応することができ、事故も未然に防げます。

交差点では必ず安全確認を

交差点の大小、進行道路幅員の広い狭いにかかわらず、常にその直前で安全確認をしなければなりません。これは車両の運転者は勿論、自転車利用者、歩行者の鉄則です。

この一年間を事故に会うことなく、安全に過ごすため、町民一人一人が、交通安全に心がけましょう。

わが家のプリンス・プリンセス



佳宏くんは二歳と三カ月、もうだいたい言葉が話せます。

昭和五十九年十月二十九日生まれ
篠本三区 伊橋幸春さん長男

ジャングルジムや、自動車に乗ったり、お気に入りのフラッシュマンの本を見たりして毎日遊んでいます。

わが家のプリンス・プリンセスを募集しています。広報防災係までお寄せください。

好きな食べ物果物で、中でもみかんは大好きです。

☎④1211
(街)214101



十二月の交通事故

(12月1日～12月31日までの件数)

地区	件名	事故件数	死者	負傷者	物件事故
日吉	0	0	0	0	0
南条	1	0	0	1	5
東陽	0	0	0	0	5
白浜	1	0	0	1	1
計	2	0	2	11	

事故防止にご協力を...